

編集委員会から

前号（2016年2号）から体裁を変更した日本食品工学会誌ですが、いかがでしたでしょうか。今回も、最初はシリーズ「シニア・ミドル・ジュニアのつぶやき」です。第2回目は矢野会長に執筆していただきました。「つぶやき」ではなく「独り言」ですが、非常に教育的な内容です。前会長、現会長と、シニアが連続したので、ミドル・ジュニアがつぶやきにくなっているかもしれません。「青年の主張」「若者の文句」「中年のぼやき」なんでもお寄せください。複数掲載することも考えています。

前号も述べましたが、今や論文は図書館へ出かけて検索・閲覧するものではなく自分のPC上で読むものになっています。読んでもらうためには、検索で見つけてもらうことが必要です。さらには、論文を引用してもらうことも重要です。Science Citation Index (SCI) による impact factor (IF) は、学術雑誌における引用度の標準になっています。残念ながら、本雑誌はまだ SCI journal ではありませんが、出版社 Elsevier の非常に強力で、世界中で利用されている search engine (検索ツール) である SCOPUS には掲載されています。ただし検索でヒットするためには適切なタイトルやキーワードが必要となります。タイトル・アブストラクト・キーワードについて検索されやすいように改訂を依頼する学術雑誌もあります。

日本食品工学会誌も国際学術雑誌として海外からの投稿も積極的に受け付けていく予定です。そのため、海外の編集委員 (editorial board member) として下記の3名にお願いしました。2016年度年次大会会期中に開催された編集委員会に3名とも出席していただきました。みなさまも、海外の研究者に本誌への投稿すすめてください。

Pramote Khuwijitjaru,	Silpakorn University, Thailand
Turkan Aktas ,	Namik Kemal University, Turkey
Jinn-Tsyy Lai,	Food Industry Research and Development Institute, Taiwan

(山口大学 山本修一)